

企画提案書 書類様式	評価項目	提案内容	評価内容	評価基準（参考）	評価 （A～D）	点数															
様式6.1	1. 現場の視点に沿った評価	<u>システムの使いやすさ</u> 誰でも操作しやすく、誤動作を生じにくい表現、画面レイアウト及び画面遷移構成が示されていること。	①システムの操作において、情報の把握を迅速に行えるための工夫について具体的に記載されている。 ②システム操作において、情報の誤認、情報共有・伝達時の錯誤を防止するための工夫について具体的に記載されている。 ③電子カルテログイン中に本調達に含まれるシステム及び含まれないシステムを起動する際、シングルサインオンが可能な範囲を具体的に記載すること。 ※シングルサインオン…1度ユーザー認証（ログイン）を行うと、以後そのユーザー認証に紐づけられている複数のシステム・サービスがユーザー認証を行わずとも利用可能となる機能	画面遷移図などで具体的な工夫内容が記載されている A：3項目すべて具体的に記載されている B：3項目のうち2項目が具体的に記載されている C：3項目のうち1項目が具体的に記載されている D：具体的な記載なし																	
様式10	2. システム稼働開始に関する評価	<u>稼働立会の体制と役割</u> 受託者は現場立会いを実施すること。現場立会い終了後は稼働支援として、システムが安定稼働するまでの一定期間、一定の要員を配置するなど十分なサポート体制がとられていること。	①システム稼働における稼働立会のスケジュールと支援体制（支援人数）について具体的に記載されている。 ②稼働立会体制では、部門システムの支援体制についても漏れなく記載されている。	支援体制、稼働立会い期間、スケジュールについて具体的な記載がある A：全項目が具体的に記載されており、連続する5営業日以上立会い期間があり、立会い人数が20人以上 B：全項目が具体的に記載されており、連続する5営業日以上立会い期間があるが、立会い人数が20人未満 C：連続する立会い期間が5日以上で立会い人数が20人以上いるが、全項目が具体的に記載されていない D：上記以外																	
様式11.1 様式12.1	3. 安定稼働に対する評価 （サイバー攻撃に対するセキュリティ対策を含む）	<u>障害の想定とその対策および回避策</u> 障害対策および障害発生後の対応方法、対応時間等について評価を行う。想定される各種障害事象に対して、予防策、発生時の対応手順、リカバリー方法など、障害発生から復旧に至るまでの一連の対応が具体的に記載されていること。	①サイバー攻撃（ウイルス感染）、ネットワーク障害、ハードウェアおよびソフトウェアの不具合等に起因する各種障害、ならびにそれに伴い発生する事象（例：個人情報の漏洩、電子カルテの停止など）について、障害の重大度（緊急・重大・通常）に応じて分類を行い、それぞれに対する予防策、発生時の初動対応、復旧手順、再発防止策までが、具体的かつ体系的に整理・記載されている。 ②提案者の障害対応および情報セキュリティに対する基本的な考え方、リスクに対する認識、ならびに平時・有事における具体的な取り組みが記載されている。	想定される障害の種類が網羅的に列挙されており、各障害に対する予防・回避策、発生時の対応方法、復旧手順についても具体的かつ実践的な内容が記載されているなど、全体として障害対応の記述が充実しているものからA→B→C→D （参考） <table><tr><td rowspan="2">緊急</td><td>定義</td><td>システム全体の停止、重要な業務の中断、データの損失が発生する障害など。</td></tr><tr><td>対応時間</td><td>1時間以内に初期対応を開始し、2時間以内に現地対応を実施。</td></tr><tr><td rowspan="2">重大</td><td>定義</td><td>一部のシステム機能が使用不能、業務に支障をきたす障害など。</td></tr><tr><td>対応時間</td><td>1時間以内に初期対応を開始し、2時間以内に現地対応を実施。</td></tr><tr><td rowspan="2">通常</td><td>定義</td><td>業務に大きな影響を与えない軽微な障害など。</td></tr><tr><td>対応時間</td><td>1時間以内に初期対応を開始し、48時間以内に現地対応を実施。</td></tr></table>	緊急	定義	システム全体の停止、重要な業務の中断、データの損失が発生する障害など。	対応時間	1時間以内に初期対応を開始し、2時間以内に現地対応を実施。	重大	定義	一部のシステム機能が使用不能、業務に支障をきたす障害など。	対応時間	1時間以内に初期対応を開始し、2時間以内に現地対応を実施。	通常	定義	業務に大きな影響を与えない軽微な障害など。	対応時間	1時間以内に初期対応を開始し、48時間以内に現地対応を実施。		
緊急	定義	システム全体の停止、重要な業務の中断、データの損失が発生する障害など。																			
	対応時間	1時間以内に初期対応を開始し、2時間以内に現地対応を実施。																			
重大	定義	一部のシステム機能が使用不能、業務に支障をきたす障害など。																			
	対応時間	1時間以内に初期対応を開始し、2時間以内に現地対応を実施。																			
通常	定義	業務に大きな影響を与えない軽微な障害など。																			
	対応時間	1時間以内に初期対応を開始し、48時間以内に現地対応を実施。																			
様式13.1	4. コストに対する評価	<u>継続利用にかかる費用</u> システム稼働後の保守・維持継続にかかる費用の削減に向けた工夫がなされていること。	①本提案において、システム稼働後に発生する各種費用の削減に向けて、どのような工夫がなされているか具体的に記載されていること。具体的な事例としてシステム稼働後の病棟の追加、病床の変更、診療科の追加・変更・削除等が発生した場合の費用の考え方（保守費用で対応可能な範囲等）について記載されている。 ②本提案において、保守費用の削減に向けてどのような工夫がなされているか具体的に記載されている。 ③本提案内容以外に、継続利用にかかる費用削減に向けた提案があれば具体的に記載されている。またその提案実現に向け、新病院に期待する対応があれば具体的に記載されている。	発生する費用について、費用が低いものから順にA→B→C→D																	
様式14.1	5. 情報システムの利活用に関する評価	<u>情報の利活用</u> システムに蓄積された各種データの利活用について提案が示されていること。	①各種データの利活用について、実例が具体的に記載されている。 ②各種データの利活用を実現するために、提案者がどのような支援を行えるのか具体的に記載されている。 ③経営改善、学会報告、認定取得のための報告、カンファレンス等の院内教育、研究を目的とした各種データの利活用の提案が具体的に記載されている。	具体的なデータの利活用について、提案件数が多く、内容が充実しているものから順にA→B→C→D																	